

世界初 火垂害を克服した島

四阪島と



日暮別邸



新居浜市立神郷小学校

5年 間部 悠生

～ 目次 ～

1 調べようとしたきっかけ

2 調べたこと

(1) 別子銅山について

(2) 別子銅山の近代化と煙害問題

(3) 四阪島移転云について

(4) 煙害問題の解決について

(5) 四阪島について

(6) 日暮別邸について

3 まとめ・感想

4 参考文献

1 調べようと思っただきかけ

ぼくは、昨年ふるさと学習でえんとつ山と山根精錬所について調べました。その時に、精錬所から出る煙によって公害が発生したことや被害を少なくしようと考えて精錬所を移転したことを知りました。父に聞くと、「最終的には、四阪島というところに移転することになった」と話してくれました。そこで「四阪島ってどこにあるのだろうか」「どうして四阪島に移転したのだろうか」「どんな島で今はどうなっている

のだろうか」などふしぎに思うことやきもんが生まれて
きました。そこで、四阪島や当時の建物につ
いて言周べることにしました。

2言周べたこと

(1) 別子銅山について

1691年(元禄4年)に住友家が新居浜市の南部の別子で金銅のさいくつをはじめました。さいくつを始め、7年イ後には産金銅量世界一をほこりました。こう道は、海はづ約1200mの場戸所から地中に深くほられ1973年(昭和48年)に閉山されました。283年間で3000万トンの金銅がさいくつされました。

(2) 別子金同山の近代化と人害問題

明治時代に入ると住友初代総

理事広瀬貞宰平が西洋の進んだ

広瀬貞宰平



技術をとり入れ、別子金同山の近代化に取り組み

ました。そのことでたくさんの金銅をほり出したリ作ったりする
ことや運んだりすることができるようになり日本でも有名な

大きな金同山に発展しました。それとともに、新居

浜の平野部(山根や惣開)に工場が建て

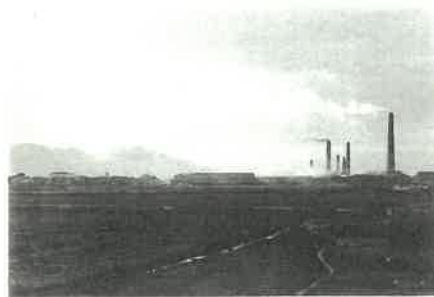
られました。結果工場から出る火煙（あり、うさんガス）により、周辺の農作物をからてしまい、大問題（煙害問題）が起こりました。



←近代化で取り入れた
別子銅山鉄道



↑現在は、別子銅山記念館前に展示しています。



↑惣開製錬所火煙害写真

明治35年(1902年)

(3) 四阪島移転云について

四阪島は、昔無人島で新居浜から20kmはなれていたのて、ここに工場をうつせばえん害問題は解決すると考え、住友2代目総令員事伊庭貞剛が、い転を計画しました。10年近くの其月間とたくさんのお金をかけて、四阪島に工場をい転する工事から出る煙は、おち郡(今の今治市)や周そう郡



伊庭 貞剛

(今の西条市)など東予一帯にかく大する結果
となてしまいました。



←煙害問題地図
(明治39~40年)

(4) えん害問題解決について
伊庭貞剛の意向をついだ
住友3代目総理事金令木馬



金令木馬左也

左也は、えん害をみとめ、「ど
れだけお金がかかってもいいからみんなに迷惑く
をかけないよう悪いけむりが出ない工場を作ろうと
決意しました。并しうに向けた農民のみなさんとの
話し合いは初めは意見がまとまりませんでした

が当時の愛媛県知事伊沢多喜男や国のたんな
当者にも間に入ってもらい進めていきました。そ
こで金銅の生産量を制限すると、米や麦の成長に
大切な時期は、工場を止めること、ダメにしてしまった
農作物の弁しょう代としてお金をいはらうことを
約束しました。その後も悪い火煙(おリゅうさん
ガス)が出ない工場を作るためにいろいろな
取り組みを系売けました。米青金東戸介のえんと

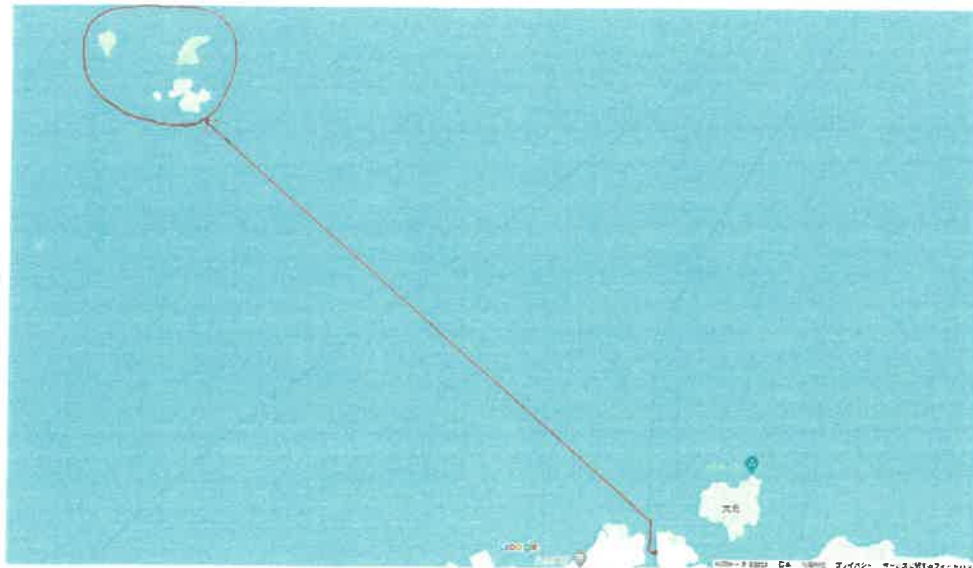
つを6本にしたリ、太きなえんとつにしたリしましたが、もっと火煙害がひどくなりました。しかし悪い煙の元になるものをで"きるた"け取りゆぞき、そこから材料をせい造し、農民のみなさんに使ってもらいました。1929年(昭和4年)には、ヘルゼン式た"つ"りゅう法を成功させ、あ"りゅうさん"ガスを0.2%までうすめることができました。1939年(昭和4年)から火煙が止まり、完全解決をしました。火煙害が発生して47年、たくさんの

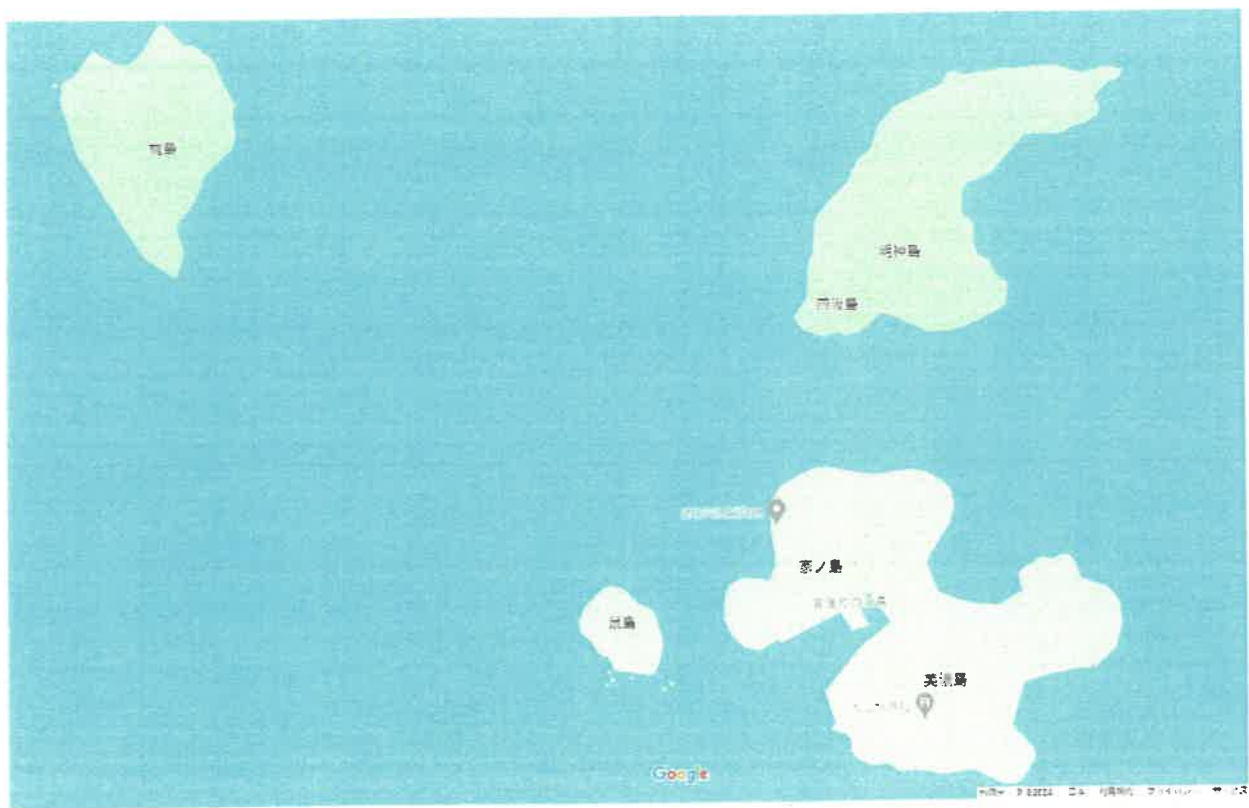
人達の努力によって解決されました。

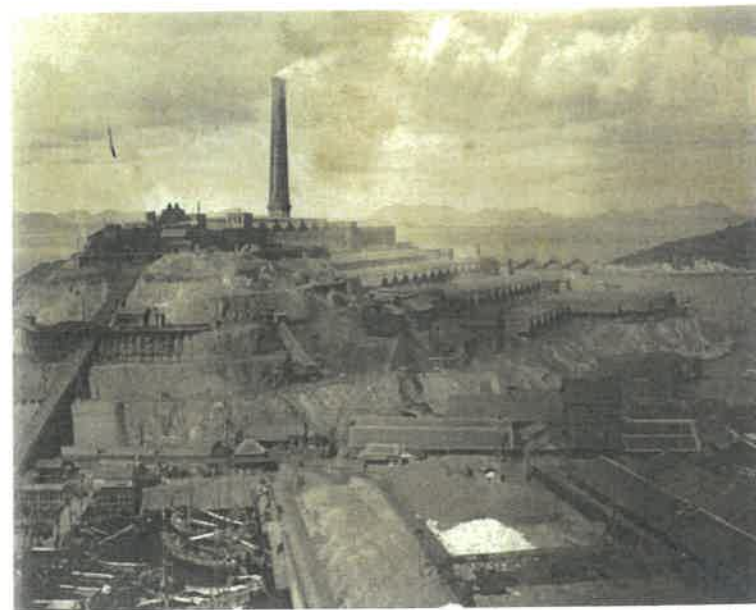
(5) 四阪島 について

四阪島 は、「現在どうなっているのだろうか」というき「問」を解決させるために近所のおじさんの舟倉に乘せてもらい 四阪島 を見に行くことにしました。多喜浜にある港から一時間ほどで四阪島が見えてきました。四阪島は5つの島からできています。今は、住友金ぞく金鉱山の所有地で島の中に入ることはできません。精錬戸介があつたときにしよ、

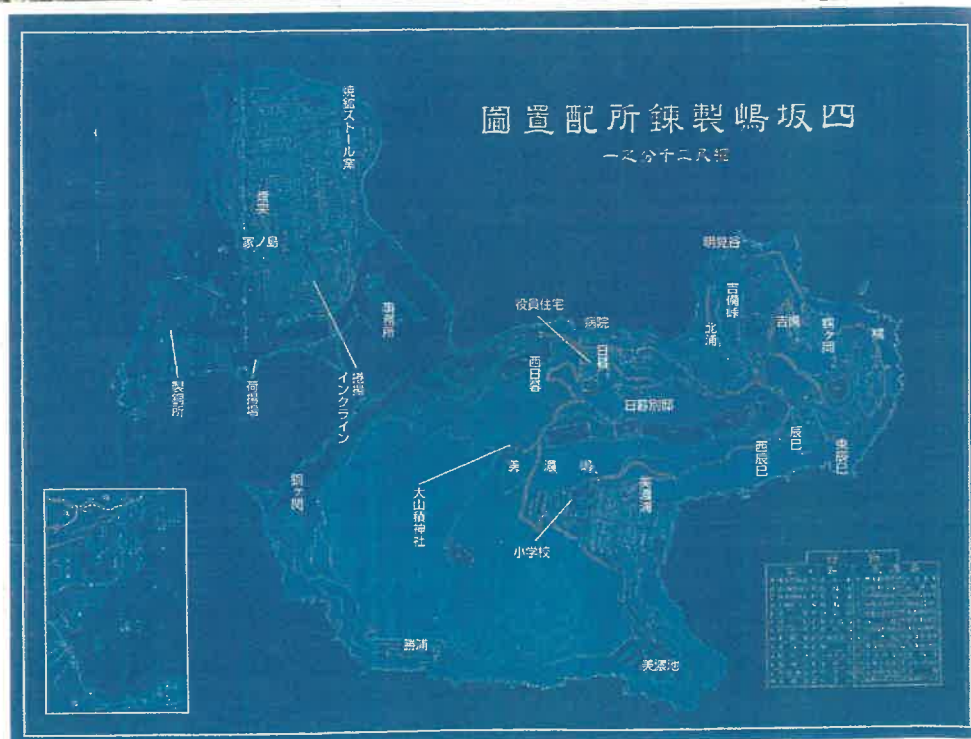
5500人ものが住んでいたそうです。
島は愛媛県今治市になります。







↑明治42年(1909年)ごろの
四阪島製鉄所



明治38年(1905年)ごろの西己置図 →

ア家ノ島

精錬所があった島。工場を
設計した塩野門之助は、日
が暮れるまで工場のことを教た



そうです。うめ丘てにより美濃島とつながっています。

大 えんとつは、2013年(平成25年)に解体されまし
た。現在は、産業はいき物からあえんを取り出しリ

サイクルする工場があります。



大煙突があったころ



工場が重なり合っていました。



西側から見ました。



東側から見ました。



美濃島

昔は精金東所で働く人が住んでいました。社宅があり水はなかったなので真水を毎日新居浜から舟台で運んでいました。お



風呂やトイレは共同。電気は1922年(大正11年)に長さ20 kmの海底ケーブルを引いて新居浜の端出場水力発電所から送電されました。1901年(明治34年)には小学校ができて、1920年(大正9年)に

児童養女1000人もいたそうです。ご楽し設や病院
もありました。日暮別邸もありました。

島には今でも住宅のあとが
ありました。



海底ケーブルが
通っているところ。
←



立山
水力発電所





↑西日暮(大正時代)



↑四阪島にあつたときの
日暮別邸



←四阪小学校あと



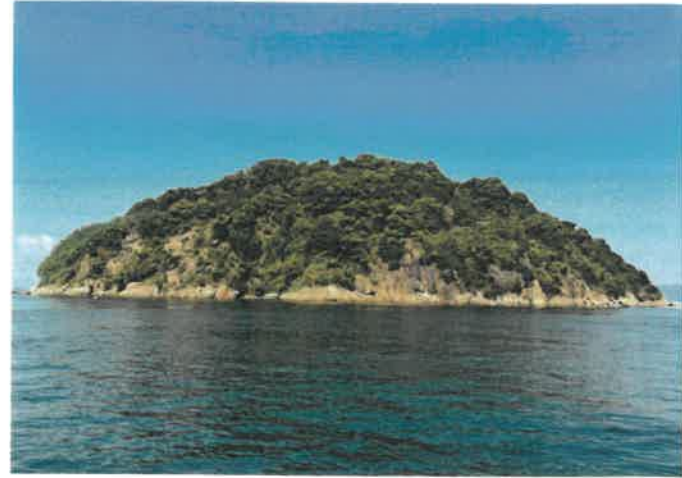
←四阪銀座とおほ"木を
商店街あと



水をためていた頂上
タンク

ウネズミ島

家ノ島の西 0.2 km にあり
ます。面積は 0.04 km^2 標高 54 m
大正中七頁には火葬場や
糸内骨堂が作られました。



工明神島

家ノ島の北にある無人島。

面積は、 0.41km^2 標高95m。



美濃島に社宅ができるまで、700戸の仮小屋
が建てられていた。戦後、農家が農作物を
つくっていたそうです。

才根島

明神島の西2kmにある無人島。面積は0.19km²

標高 78m

(6) 日暮別邸

1906年(明治39年)その時

住友家当主であった友糸の指示
で四阪島の工場が見える美

濃島に住友家の別邸(日暮別
邸)が建てられました。できてから110年あまり

がたち、古くなったので修理が必要になりました。

そこで2018年(平成30年)に星越山、たいせつし

修理しながら元のすがたにもどされました。約10000



個の材料が運ばれました。別子金山や日暮別
邸のことをくわしく知るために日暮別邸記念館
の山下さんにお話を聞くことにしました。
設計は、野口孫市によるもので、木造2階建
でモダンな洋風の建物です。



(応接室)

イヌヤつくえ照明器具、
だんろも昔使っていたものだ
そうです。



(サンルーム)

日の光が入り、明るかたです。



(食堂)

天井は、格天井といえ
も格式高いっく
りになっていました。



(まわり階段さん)



2階からは、住友の工場群が見えました。



四反島も見
えました。



3 まとめ 感想

ぼくは、四反島や日暮別氏について調べて思ったことや考えたことが二つあります。

一つは、火煙害による被害をおさめようと精錬所を四反島に木多そうとした人や考えた人たちがいて、あきらめずに計画を進め、行重たしたすごさや努力についてです。たくさんの方や費用がかかたとしても住民のゆたかな生活を守るために矢張り出し合い協力して進めることにより、最終的には火煙害がなくなり、

生活がゆたかになりました。

二つ目は、世界で初めて火煙害問題を解決した島が新居浜市の近くにあったというおどろきです。明治時代から持続可能な社会をめざし、四阪島は環境問題をこく服しました。そして、現在でも金属をリサイクルする工場が動いています。努力してきた精神が今も受けつがれていることにもおどろきました。

ほくは、産業の発展と煙害問題解決のため、
努力してくれた人たちのおかげで、今の新居浜が
あんなに生活を送ることができることに気付
きました。そして、言周る中で新居浜がますます好
きになりました。ほくもふるさと新居浜のために活
やくできるように努力していきたいです。



4 参考文献

- ・愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部「子
金山近代化産業遺産 八十八か所ふれあいめぐ
りガイドブック」(2018)
- ・公益財団法人日本リ島センター「SHIMADA」
(2019)
- ・前畑洋平「産業遺産JAPAN」創元社(2016)
- ・新居浜市「新居浜市の歴史」(2021)
- ・日暮別邸記念食官パンフレット「日暮別邸記念

食館に行ってみよう

- ・住友グループ広報委員会ホームページ

<https://www.sumitomo.gr.jp/>

- ・住友金属 金鉱山ホームページ <https://www.summ.co.jp/>

・新居浜市・新居浜市樹産委員会「別子銅山の遺産歴史資料系編」(2018)

- ・新居浜市教育委員会「めざせ!新居浜ものいり

博士」(2012)

・新居浜市孝文 育委員会「わたしたちの新居

浜市」(2021)